

様式3

令和4年度ふるさと人材・地域づくり推進事業
「持続可能な地域づくり充実事業」実施報告書

学校番号	32	学校名	大曲農業高等学校	(全)・定)
------	----	-----	----------	--------

実施した内容について次のとおり報告します。

テ ー マ	ファシリテーション研修
実 施 日 時	令和4年11月14日(月) 13:30~15:00
場 所	大曲農業高等学校 園芸実習室
参 加 人 数	生徒16名
実 施 内 容 ・ 状 況 等	<p>大仙市農業振興情報センター研修生との相互交流の一環として実施しており、今後の相互交流時の意見交換の場が活発になるようファシリテーションスキルの習得を目的として行った。実施内容は以下のとおり。</p> <p>講師：まちづくりファシリテーター 平元美沙緒氏 アイスブレイク「グループ対抗 のぞき見ゲーム」 ワーク（意見交換）「話し合いの場の『困った』あるある」 レクチャー「事例で紐解く 話し合いの場での困りごととその解決方法」 ワーク「話し合いの『話す・聴く・書く』体験」 レクチャー「対話的コミュニケーションのコツ」 ふりかえり「今日の気づき」</p>
成 果 と 課 題	<p>1年生が別の行事と重なり、人数が少ない状態になってしまったが、少人数だからこそ一人一人により効果的な展開で実施できた。ゲーム形式のアイスブレイクでは、最初は真顔の生徒が多かったが、だんだんと笑顔になり全体的に柔らかい雰囲気になった。生徒たちは実感としてアイスブレイクの意義を理解したようだ。また、今年は、ファシリテーターとしてのスキルのみならず、対話時のコミュニケーションのコツについてもレクチャーがあり、今後の相互交流により効果的につながる研修会になった。</p> <p>しかし、後日、実際の相互交流の場になるとなかなか主体的な立場に立てず、研修生の方にリードされる場面が多く見られた。今後は、こうした経験を積んで、そのなかでこれらのスキルを自分のものにし、将来に渡って活用してもらえらることを期待する。また、ファシリテーションスキルは、教師側にも身に付けて欲しい能力のため、今後は、教師の参加もできる形式を考えたい。</p>

